

施設名	櫛引たらのきだいスキー場	地域振興計画	1-(3)-③
-----	--------------	--------	---------

1 目的

櫛引たらのきだいスキー場は冬季間の健康増進を目的とし、併せて地域活性化、冬季雇用の場の創出を図るため、毎年12月中旬から3月上旬までの期間に営業している。

運営については、スキー場は鶴岡市が行い、隣接するほのかたらのきだいは民間事業者を指定管理者として指定して運営している。

2 利用推移

項 目	令和 5 年度	令和 4 年度	対前年比 (R5・R4)	令和 3 年度	令和 2 年度
営業日数	58 日	71 日	81.7%	67 日	72 日
入込者数 (スキー教室、そり乗り等含)	30,818 人	36,261 人	85.0%	31,003 人	28,077 人

櫛引たらのきだいスキー場入込者数推移

3 これまでやってきたこと

- 平成 26 年度から湯殿山スキー場とのシーズン券購入者の相互利用を可能とし、誘客を図った。
 - ・櫛引→湯殿山 12～3 月 1 日券が半額で購入可 (1～2 月は雪不足等で営業できない場合のみ)
 - ・湯殿山→櫛引 12～3 月 ナイター券が半額で購入可
- 平成 30 年度から平日の営業はナイターのみとし、効率的な営業に切り替えた。
- 令和 2 年度から『雪マジ! 19』プロジェクトに参加。カラー照明の増設と併せて、若い世代の誘客を図った。
- 令和 3 年度から『雪マジ! 19』に加えて『雪マジ! 20』プロジェクトにも参加。高校生向けリフト料金の新設と高校生以下のお得なレンタルセットの設定と併せて、若い世代の誘客を図った。
- 令和 5 年度に来場者サンクスデーのイベント内容をリニューアル。情報発信についてはこれまでの『Facebook』に加えて『Instagram』の利用も開始し、PR 動画の作成や動画投稿により誘客を図った。

市内の年長園児の保護者に対しチラシを送付し、親子でできる雪遊びの PR を行い誘客を図った。

4 今後やろうと思っていること

- 市街地に近いことやナイター照明が完備している利点を生かし、地域に根ざしたファミリーや初心者向けのスキー場であることを運営の柱に据えて健全経営を継続する。
 - ・用具のお得なセットのレンタルによる『手ぶらでスキー場』を PR する。
 - ・未就学児にそりの無料レンタルを行い、親子で雪遊びを楽しんでもらう。
 - ・今後増加が予想されるインバウンドの受入体制の整備を図る。